

# Shima Shima! ポール 大学訪問

リハビリテーションカレッジ島根

4号をご覧になった学校の方から、次はぜひウチにと取材依頼の電話をいただきました。どんな学校なんだろっ、そういうワケで今回は、リハビリテーションカレッジ島根を訪ねます。

今回訪問する学校は、浜田市と益田市の間の町三隅町にある、リハビリテーションカレッジ島根。リハビリテーションを学ぶ4年制の専門学校です。去年初めて卒業生が出た新しい学校なので、まだ知らない人も多いかも。320人ほどの学生のうち島根県出身者は2割ほど、あとは県外出身です。ちなみに県内には、リハビリの専門学校は仁多町と松江市にもあります。



リハビリテーション医療ってわかりますか？先生に聞くと、「病気や事故や加齢により、生活が不自由になっている人の心身機能の維持回復を目指して治療や指導・支援を行う事ですね。体育系の部活をしている高校生は、けがなどで理学療法士のお世話になった経



学生食堂

学校を案内してくれた志田尾先生



れました。線崎くんは愛媛、津波さんは大阪の病院でこれから3週間の評価実習に入ります。「患者さんにはうまく対応できるか、という不安」という2人ですが、セラニストを目指すと2人の目は輝いています。津波さんは卒業後は、沖縄本島で経験を積み、自信をつけてから石垣島で仕事にしていきたいと考えています。最初から石垣島では、だめなの？と聞くと、「言語聴覚士が今一人も石垣島にはいないから、先輩がいるところでないと心配で…」と答えられました。



障害に対応したさまざまな用具



「第1志望はここじゃなかったんです。でも、ここよかった」という線崎くん。



言語聴覚学科の授業風景

験を持つ人も多いと思いますよ」と教えていただきました。  
この学校には、「理学療法学科」、「作業療法学科」そして、「言語聴覚学科」の3つの学科があります。それぞれ卒業し、国家試験に合格すると、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士として、医療や福祉の現場で働くようになります。

学校は、さまざまな運動施設や石正美術館のある三隅中央公園の角にあります。勉強そして何より学生生活に集中できる（せざるをえない？）環境で、学生たちはみんな仲がよさそうです。国家試験という共通の目標をもっているせいかもしれませんが、評価実習を前にした3年生の2人にお話を聞きました。



福岡県出身の線崎くんは沖縄県石垣島出身の津波さん。2人とも言語聴覚を勉強しています。「話す・食べる身体機能的には同じらしい」という機能に障害を持つ人に、機能回復を図ったり、代わりの手段を考えていくのが言語聴覚士」と説明してく



作業療法学科の授業風景



「言語聴覚士はコミュニケーションの専門家」というキャッチコピーに誘われましたと、志望動機を語る津波さん。



タイトルイラスト / 砂昌さん



学校法人同志舎  
リハビリテーションカレッジ島根

リハビリテーションを学ぶ4年制の専門学校。  
学科 / 理学療法学科【定員30人】・作業療法学科【定員20人】・言語聴覚学科【定員40人】  
〒699-3225 島根県那賀郡三隅町古市場2086-1  
TEL.0855-32-3260 FAX.0855-32-3261  
<http://www.rcs.ac.jp>



理学療法学科の授業風景



壁に掲示してあるたくさんの求人

